

第206回 信用保証利用企業動向調査

(2020年7～9月期実績、2020年10～12月期見通し)

福岡県信用保証協会（本所：福岡市博多区 会長：山崎建典）は、株式会社日本政策金融公庫（本店：東京都千代田区 代表取締役総裁：田中一穂）と共同で、福岡県信用保証協会をご利用いただいている中小企業に対し、景況・金融動向を把握するため、四半期毎にアンケートを実施のうえ発表しています。

なお、次回の発表は2021年1月を予定しています。



— 今回の調査 —

| | |
|---------|-----------------|
| 【調査時点】 | 2020年9月中旬 |
| 【調査対象】 | 1,869企業 |
| 【有効回答数】 | 560企業（回答率30.0%） |
| 【調査方法】 | 封書によるアンケート調査 |



～ 福岡県内の景況・金融動向 ～

**「県内信用保証利用企業の景況は、
持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況が続いています」**

生産・売上

建設業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小し、特に小売業、サービス業、製造業で大幅に縮小しました。

採算

全ての業種でマイナス幅が縮小し、小売業、サービス業、卸売業で大幅に縮小しました。

資金繰り

建設業を除く全ての業種で大幅に改善しました。

借入難易感

小売業、建設業で改善し、卸売業は横ばい、製造業、サービス業で悪化しました。

■お問い合わせ先

保証統括部 保証企画課 楠本・小田 電話092(415)2609

URL : <https://www.fukuoka-cgc.or.jp/> Mail : h-suisin@fukuoka-cgc.or.jp



概況

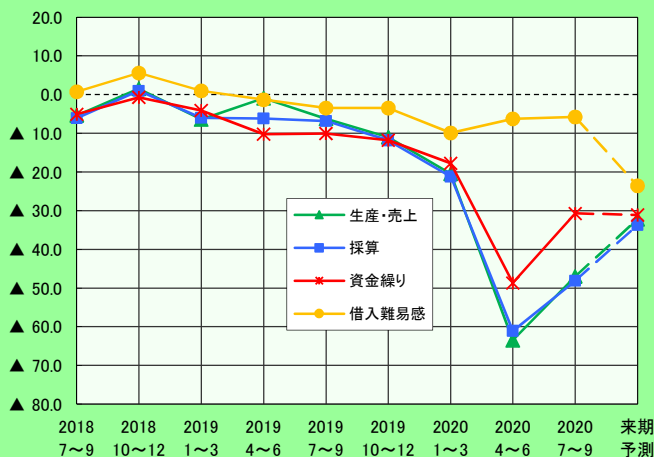
総合DIの推移

コメント ～全国と同様に、福岡の景況も持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況が続いている～

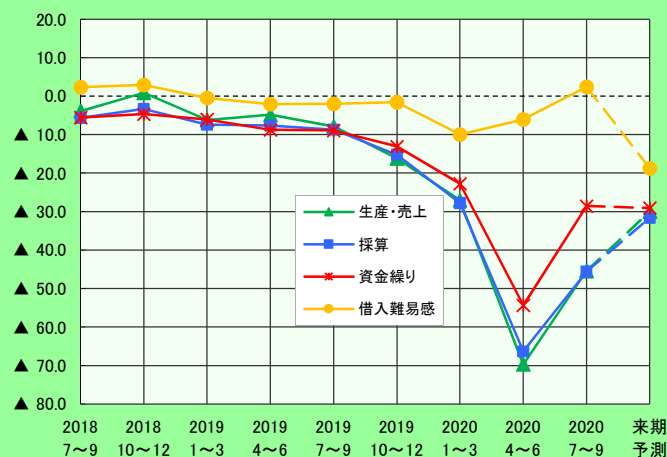
今期調査(2020年7～9月期)による景況動向指数は、前期(2020年4～6月期)実績に比べ、全国値では、生産・売上DI、採算DI、資金繰りDIはマイナス幅が大幅に縮小、借入難易感DIは2018年10～12月期以来のプラスとなりました。

福岡では、生産・売上DI、採算DI、資金繰りDIはマイナス幅が大幅に縮小、借入難易感DIは横ばいとなりました。来期予測について、全国、福岡ともに、借入難易感DIが大幅に悪化する見込みとなっています。

福岡



全国



※景気動向指数DI(Diffusion Index)とは・・・

景気動向指数DIとは、景気の現状と先行きを予測する動向指数で、アンケート調査において、前期に比べ、「増加(または、好転、容易)」と回答した企業割合から、「減少(または、悪化、困難)」と回答した企業割合を差し引いた数値から、季節的な変動要因(季節調整値)を控除した数値です。

TOPICS

取扱期間
令和3年
1月末
お借り入れ分
まで(※)

◆ 新型コロナウイルス感染症対応資金について ◆

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者・小規模事業者の皆さまに対して **3年間実質無利子・無担保、当初保証料ゼロ**の資金繰り支援を実施しています。

| | |
|-----------|---|
| 融資対象者 | 市町村から以下のいずれかの認定を受けた方 ①セーフティネット保証4号(売上高20%以上減少) ②セーフティネット保証5号(売上高 5%以上減少) ③危機関連保証(売上高15%以上減少) |
| 融資限度額 | 4,000万円以内 |
| 融資期間 | 10年以内(据置期間5年以内) |
| 融資利率 | 1.3%(一部対象者を除き、貸付から 3年間は実質ゼロ) |
| 信用保証料(当初) | 事業者負担ゼロ (一部対象者は1/2負担) |

※令和2年12月末までに保証協会にて受付する必要があります。

- 新型コロナウイルス感染症に関する電話経営相談窓口を、設置しています。
電話相談窓口：(092)415-2604 (平日午前9時～午後5時)
- 最新情報につきましては、当協会ホームページをご覧ください。

福岡県信用保証協会

<https://www.fukuoka-cgc.or.jp/>



福岡県信用保証協会

本所保証統括部



0120-112-249

生産・売上DI

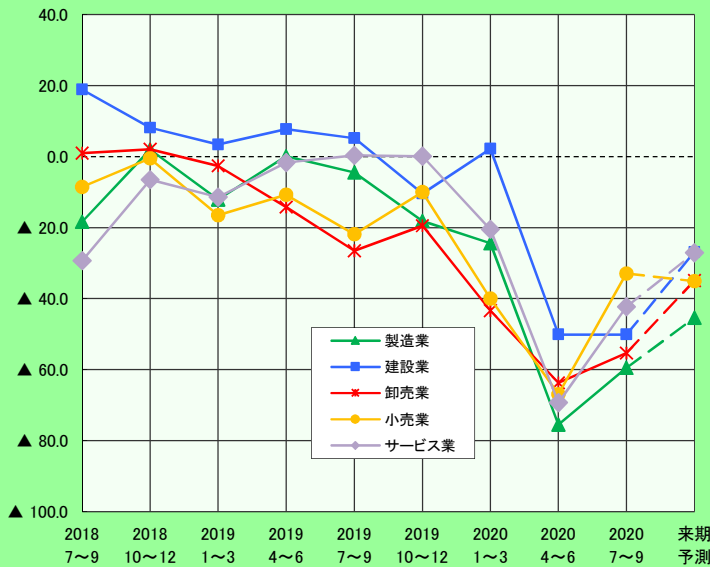
コメント ～建設業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小し、特に小売業、サービス業、製造業で大幅に縮小～

生産・売上DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ16.5ポイント改善し、▲47.0となりました。

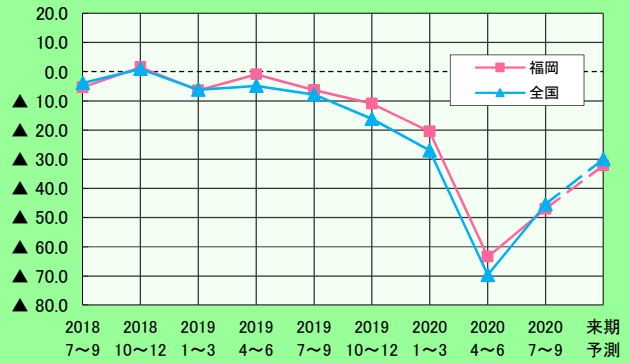
業種別では、前期実績に比べ、小売業は34.0ポイント、サービス業は27.0ポイント、製造業は16.0ポイント、卸売業は8.4ポイント改善し、建設業は横ばいでした。

来期予測では、小売業以外の業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の生産・売上DI推移(業種別)



全国と福岡県の生産・売上DIの総合



| 福岡 | 前期予測 | 今期実績 | 来期予測 |
|-------|--------|--------|--------|
| 総合 | ▲ 40.0 | ▲ 47.0 | ▲ 32.2 |
| 製造業 | ▲ 55.8 | ▲ 59.5 | ▲ 45.4 |
| 建設業 | ▲ 40.8 | ▲ 50.1 | ▲ 26.8 |
| 卸売業 | ▲ 42.7 | ▲ 55.3 | ▲ 34.9 |
| 小売業 | ▲ 31.8 | ▲ 32.9 | ▲ 35.1 |
| サービス業 | ▲ 35.0 | ▲ 42.3 | ▲ 27.1 |

採算DI

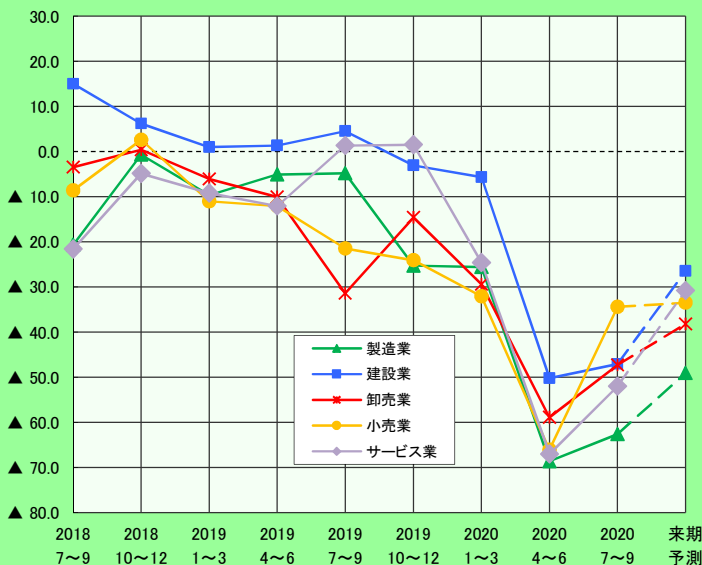
コメント ～全ての業種でマイナス幅が縮小し、小売業、サービス業、卸売業で大幅に縮小～

採算DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ13.0ポイント改善し、▲48.1となりました。

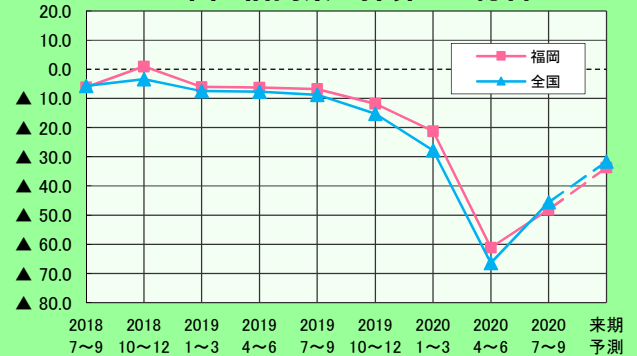
業種別では、前期実績に比べ、小売業は31.7ポイント、サービス業は15.0ポイント、卸売業は11.6ポイント、製造業は6.0ポイント、建設業は3.1ポイント改善しました。

来期予測では、小売業で横ばい、その他の業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の採算DI推移(業種別)



全国と福岡県の採算DIの総合



| 福岡 | 前期予測 | 今期実績 | 来期予測 |
|-------|--------|--------|--------|
| 総合 | ▲ 40.1 | ▲ 48.1 | ▲ 33.7 |
| 製造業 | ▲ 59.0 | ▲ 62.6 | ▲ 49.1 |
| 建設業 | ▲ 39.6 | ▲ 47.1 | ▲ 26.5 |
| 卸売業 | ▲ 36.5 | ▲ 47.3 | ▲ 38.2 |
| 小売業 | ▲ 35.9 | ▲ 34.4 | ▲ 33.5 |
| サービス業 | ▲ 34.8 | ▲ 52.0 | ▲ 30.8 |

資金繰りDI

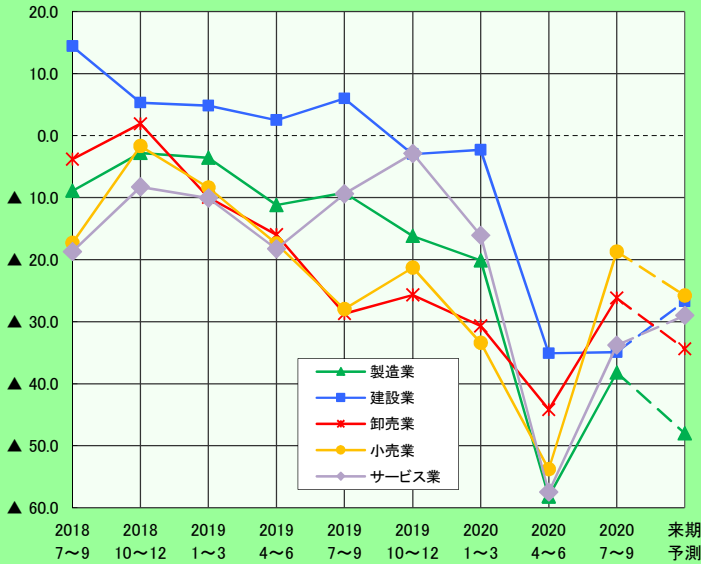
コメント ~建設業を除く全ての業種で大幅に改善~

資金繰りDIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ18.0ポイント改善し、▲30.7となりました。

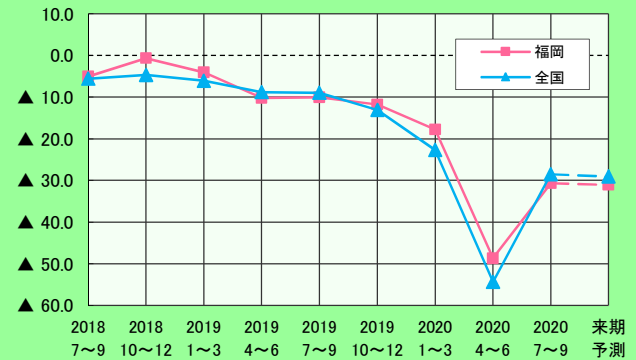
業種別では、前期実績に比べ、小売業は35.1ポイント、サービス業は23.7ポイント、製造業は20.0ポイント、卸売業は18.0ポイント改善し、建設業は横ばいでした。

来期予測では、建設業、サービス業以外の業種で悪化する見込みとなっています。

福岡県の資金繰りDI推移(業種別)



全国と福岡県の資金繰りDIの総合



| | 福岡 | 前期予測 | 今期実績 | 来期予測 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 総合 | ▲38.5 | ▲38.5 | ▲30.7 | ▲31.1 |
| 製造業 | ▲56.8 | ▲56.8 | ▲38.2 | ▲48.0 |
| 建設業 | ▲37.3 | ▲37.3 | ▲34.9 | ▲26.7 |
| 卸売業 | ▲36.7 | ▲36.7 | ▲26.2 | ▲34.4 |
| 小売業 | ▲36.3 | ▲36.3 | ▲18.7 | ▲25.8 |
| サービス業 | ▲32.9 | ▲32.9 | ▲33.8 | ▲29.0 |

借入難易感DI

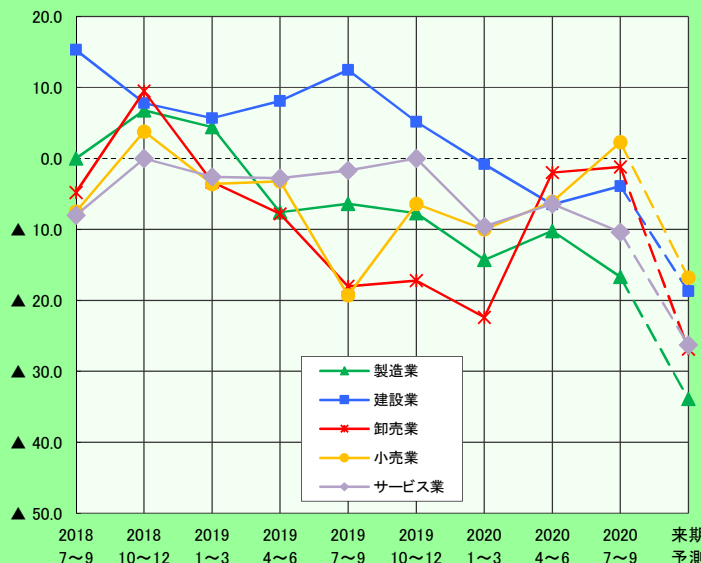
コメント ~小売業、建設業で改善し、卸売業は横ばい、製造業、サービス業で悪化~

借入難易感DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ0.5ポイント改善し、▲5.8となりました。

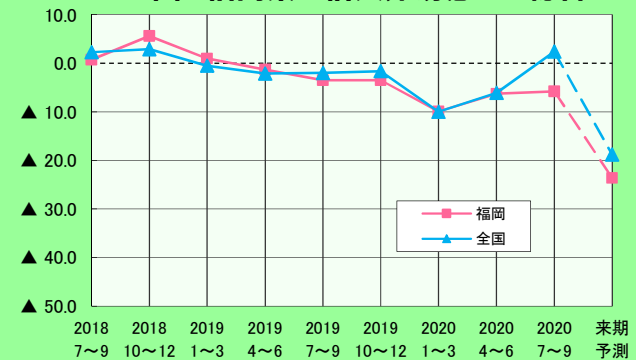
業種別では、前期実績に比べ、小売業は8.4ポイント、建設業は2.6ポイント改善し、卸売業は横ばいでした。一方で製造業は6.5ポイント、サービス業は4.0ポイント悪化しました。

来期予測では、全ての業種で大幅に悪化する見込みとなっています。

福岡県の借入難易感DI推移(業種別)



全国と福岡県の借入難易感DIの総合



| | 福岡 | 前期予測 | 今期実績 | 来期予測 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 総合 | ▲28.4 | ▲28.4 | ▲5.8 | ▲23.6 |
| 製造業 | ▲43.0 | ▲43.0 | ▲16.7 | ▲33.9 |
| 建設業 | ▲24.8 | ▲24.8 | ▲3.9 | ▲18.7 |
| 卸売業 | ▲26.0 | ▲26.0 | ▲1.2 | ▲26.9 |
| 小売業 | ▲30.7 | ▲30.7 | ▲2.3 | ▲16.8 |
| サービス業 | ▲24.7 | ▲24.7 | ▲10.4 | ▲26.3 |

新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況について

1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

- ・企業活動へのマイナスの影響については、調査時点(9月中旬)において、「影響あり」と回答した企業が前期に引き続き約7割となっています。なお、「影響なし(今後、影響が出る可能性が高い)」と回答した企業も合わせると引き続き9割超が続いています。
- ・業種別にみると、建設業を除く全ての業種で「影響あり」が前期に引き続き7~8割程度となっていますが、小売業を除く全ての業種では、「影響あり(回復の兆しあり)」の回答割合が増加しています。

2. 金融支援の利用状況について

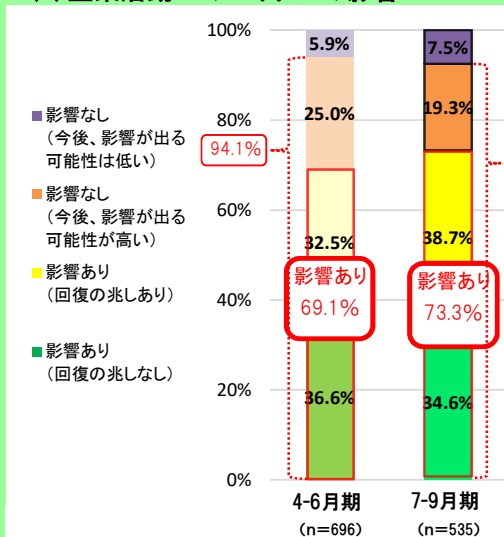
- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う資金繰り対策として、2020年7~9月に金融支援を「利用した」と回答した企業は前期に引き続き5割を超えています。利用した金融支援をみると、「信用保証付き融資」が7割超と最も多く、前期調査と比べて約20ポイント増加しています。
- ・金融支援を利用した理由については、「人件費支払など従業員の雇用維持のため」が最も多く、次いで「既存の取引先(仕入・外注・借入先等)への支払・返済など取引継続のため」が続いており、回答割合は、いずれも約7割となっています。

3. 今後の金融支援の利用に係る検討状況について

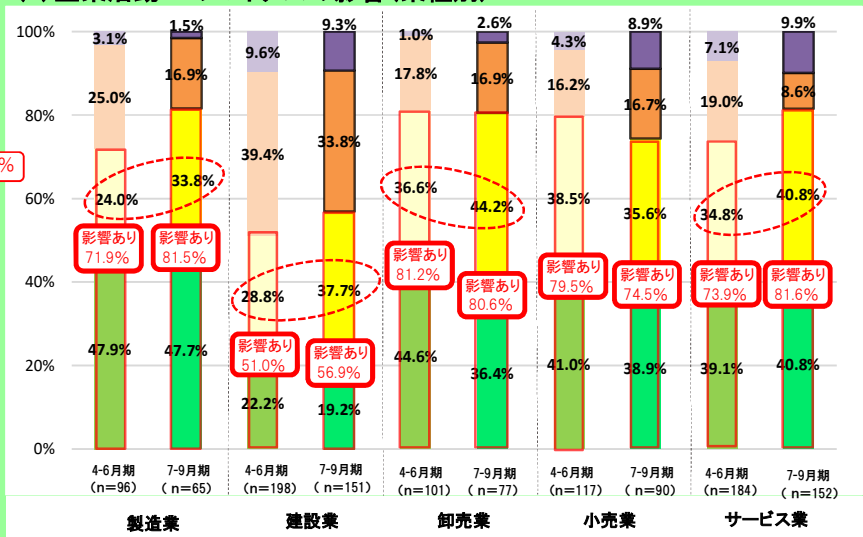
- ・今後の金融支援の利用に係る検討状況については、「検討している」と回答した企業が全体の4割超となり、前期調査と比べて約20ポイント減少しています。

1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

(1) 企業活動へのマイナスの影響

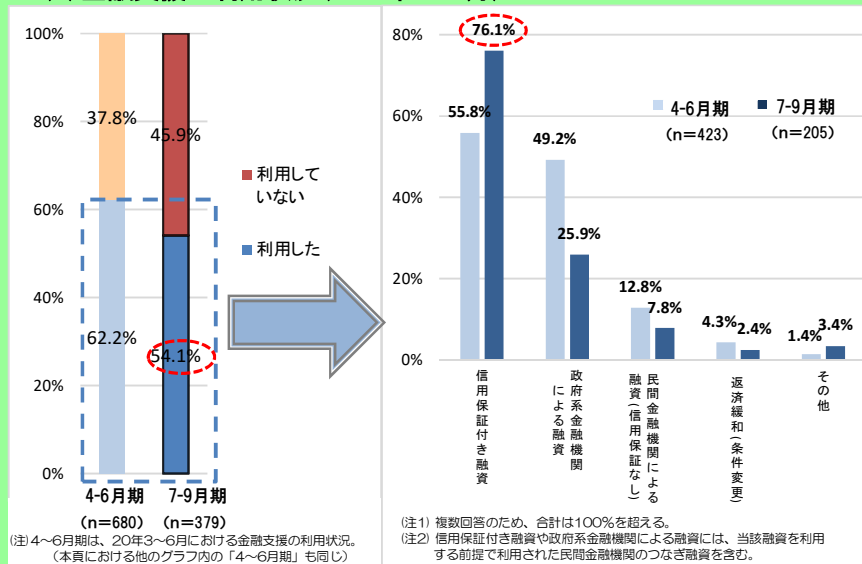


(2) 企業活動へのマイナスの影響(業種別)

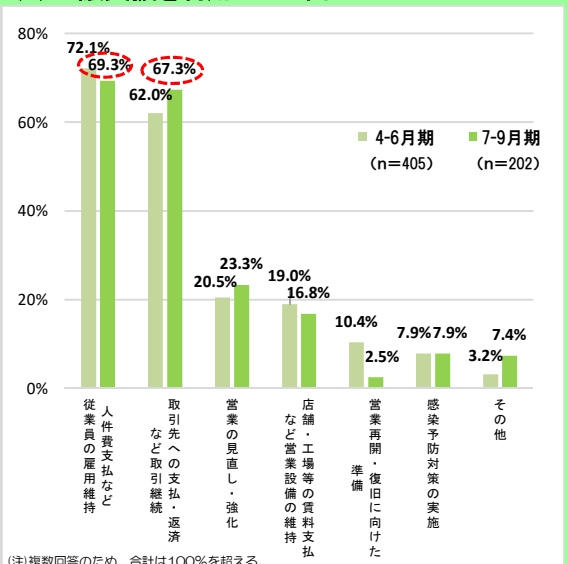


2. 金融支援の利用状況について

(1) 金融支援の利用状況(2020年7~9月)



(2) 金融支援を利用した理由



3. 今後の金融支援の利用に係る検討状況について

